

助成事業名 HINADORI プロジェクト:自然と地域をつなぐツリーハウスづくり事業

(スタート助成 1 年目:HINADORI プロジェクト協議会)

事業概要

ツリーハウス制作とワークショップを通じて、地域の方々と共に自然資源の活用を考える事業

実施内容

「自然と地域をつなぐツリーハウスづくり」をテーマに、地域の自然素材を活かしたツリーハウスの制作と関連ワークショップを行いました。

4月から5月にかけて、かさだ広場・各務原アウトドアフィールドにおいてツリーハウスを設置・展示し、その制作過程を公開型のワークショップとして実施しました。葦簀による壁づくりや竹編み、竹を用いたインスタレーション制作、植物やビオトープを取り入れた屋根づくりなど、地域の素材を使った制作作業を行いました。

1. ツリーハウス制作ワークショップ

<大人向けワークショップ>

ツリーハウスの構造や素材の特性に触れながら制作工程に参加する形式のWS

<子ども向け「HINADORI キッズクラブ」>

会場周辺の自然環境を活かした探検活動や秘密基地づくり

2. ツリーハウス展示

4月26日から5月3日までの1週間、完成したツリーハウスを一般公開しました。

3. 素材の再利用ワークショップ

ツリーハウス撤去後は、竹炭づくりや竹材づくり、葦簀づくりなどのワークショップを実施しました。制作に使用した素材や地域資源を再活用し、次の制作へとつなげる取り組みを行いました。

「制作・展示・撤去・素材の再利用」という一連の流れを事業の枠組みとして、年間を通して実施しました。本年度は、その循環型の取り組みをかたちにする初年度として実施しました。



ツリーハウス制作ワークショップ



完成したツリーハウス



HINADORI キッズクラブ



竹の伐採



竹炭づくり



葦簀づくり

-*

事業成果

地域の自然素材を活かした制作活動と、その循環の仕組みを実践として示すことができました。制作過程を公開し、参加型で展開したことで、ツリーハウスは単なる展示物にとどまらず、地域資源と人とをつなぐ交流の場として機能しました。

大人向けワークショップでは、参加者が竹や葦簀などの素材に直接触れ、構造や加工方法を学びながら制作に関わる形式とし、アンケートでは、体験の質や運営体制に対する高い評価が確認できました。

子ども向けプログラムでは、自然環境の中で主体的に活動する機会を提供しました。自由度の高い秘密基地づくりを中心に展開し、「子どもが大満足だった」「自分たちで考えて作る姿が見られた」「協力しながら完成させる経験ができた」といった感想が寄せられました。保護者からは、「自然に触れ、自由に発想できる貴重な機会だった」「安心して子どもを任せられた」との声もあり、自然体験と創造活動を両立した場としての意義が確認できました。

ツリーハウス展示期間中の来場者アンケートの自由記述では、「自然の中で心地よい時間を過ごせた」「持続可能な取り組みを感じた」「地域にこうした場が増えてほしい」「来年も楽しみにしている」など、継続を望む声が多く寄せられました。一方で、「駐車場や会場までの案内表示が分かりづらかった」といった具体的な改善点も挙げられ、次年度に向けた課題も明確になりました。

制作・展示・撤去・素材の再利用までを一連の流れとして実施したことで、自然資源を循環させながら活かす事業モデルの実践的な検証を行うことができました。価格設定や広報導線、実施時期などの運営面の課題も具体的に整理することができ、次年度に向けた改善の方向性を明確にすることができました。

本年度は、循環型の取り組みを継続していくための基盤を整える初年度として、運営体制・参加者層・広報効果の各面において実践的な成果を得ることができました。今後は、これまでに構築した制作手法や運営の枠組みを基盤とし、安定的に継続できる体制づくりを進めます。より多くの人に関わり、参加できる形へと展開を広げながら、地域に根差した継続的な取り組みへと発展させていきます。

収支報告

事業費総額（決算予定額） 301,895 円 / 助成金交付予定額 100,000 円

助成経費内容

ワークショップ講師料、ヘルメット、竹割、竹割鉋、ノコギリ、剪定ばさみ、鎌、ハッカー、ペンチ、ニッパー、手袋、ブルーシート、しゅろ垣根縄、消耗品